

第108回経営幹部セミナー 開催報告



第108回経営幹部セミナーは、まだ残暑の残る名古屋にて9月9日（月）～21日（土）に開催されました。クラスディスカッションでは、本セミナー主管である磯辺 剛彦 教授の「太陽食品工業株式会社」をはじめ、総勢13名による教員から18タイトルのケースを学んでいただきました。また、期間中は2回の講演があり、それぞれ「今どきの勝ってる会社、負けてる会社」（磯辺 剛彦 教授）、「経営の大局を鳥瞰する」（山根 節 教授）というテーマで行われ、好評を博しました。

期間中、食事やコーヒブレイクなどの時間などを利用して、受講者同士、また教員との交流を深められているご参加者が多数おられました。KBSのケースメソッドでは、1ケースにつき3時間程度の予習が必要となり、1日に2ケースおこなう経営幹部セミナーにおいては、6時間近い予習が毎日必要になります。そんな厳しいスケジュールの中、ケースからだけでなく、人との交流を通して学ぼうとされる、真剣な受講者の皆様の姿が印象的でした。



セミナー概要

開催日時	2013年9月9日（月）～9月21日（土）〔12泊13日〕
会 場	名古屋東急ホテル

受講者の声

セミナー全般

会社での勤務経験があり、実務的な話が豊富な教授の講義に引きこまれた。

基本的なビジネスのフレームワークを再確認できた。

学習環境がよく、勉強に集中することができた。また、体操やコーヒーブレイクが良い息抜きになった。



印象に残ったケース

シアリスーNo.1ブランドへの挑戦ー（マーケティング）

後発者がいかにしてNo.1ブランドに挑んでいったのか…。マーケットへの新規参入時のブランド戦略が大変勉強になった。

授業内容そのものからの学びも多かったが、クラスディスカッションにおいて、教授が受講者の発言を引き出す方法が秀逸だと感じた。

東京電力 福島第1原発事故と賠償スキーム（会計管理）

タイムリーで興味深いトピックであった。また、財務諸表の特徴を図でつかむというスキルを習得できた。

苦手意識のあった分野だったが、講義後は、財務諸表の見方と解析方法に自信を持てるようになった。